

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年2月7日 |
| 【四半期会計期間】 | 第159期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日） |
| 【会社名】 | Oakキャピタル株式会社 |
| 【英訳名】 | Oak Capital Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区赤坂八丁目10番24号 |
| 【電話番号】 | (03)5412-7474(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 秋田 勉 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区赤坂八丁目10番24号 |
| 【電話番号】 | (03)5412-7474(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 秋田 勉 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第158期 第3四半期連結 累計期間 | 第159期 第3四半期連結 累計期間 | 第158期 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,134,513 | 2,206,383 | 2,230,477 |
| 経常損益(は損失) (千円) | 687,762 | 1,673,630 | 957,818 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益(は損失) (千円) | 689,642 | 1,516,838 | 979,138 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 641,951 | 1,243,544 | 1,305,285 |
| 純資産額 (千円) | 8,141,666 | 6,027,251 | 7,439,335 |
| 総資産額 (千円) | 8,384,785 | 9,136,473 | 8,498,679 |
| 1株当たり四半期(当期)純損益金額(は損失) (円) | 12.86 | 28.28 | 18.25 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 97.10 | 65.25 | 87.54 |

| 回次 | 第158期 第3四半期連結 会計期間 | 第159期 第3四半期連結 会計期間 |
|------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年10月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日 |
| 1株当たり四半期純損益金額(は損失) (円) | 6.09 | 4.93 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、それぞれ記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(金融事業)

第1四半期連結会計期間において、従来、当社の主たる営業目的である投資育成を目的としていたため議決権の過半数を自己の計算において所有しているにもかかわらず子会社としていなかったノースホールディングス(株)及び(株)ノースエナジーについて、2019年4月2日の当社取締役会決議により、両社を当社グループの傘下に入れることを決定したため、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクは、次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 太陽光発電事業について

経済産業省から再生可能エネルギー（太陽光）発電設備の認定を受け、電力会社等へ発電した電気を売却することで、20年間固定された売電単価により売電代金を収受いたしますが、天候不順などの影響により日照量や日照時間が少なくなった場合、発電量の低下により売電収入が計画を下回り、業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 有利子負債について

当社の連結子会社である㈱ノースエナジーでは、太陽光発電等の設備投資資金及び運転資金を主として金融機関からの借入金により調達しております。金利の上昇や当該連結子会社の信用力の低下などにより、必要な資金が確保できなくなった場合、業績及び財政状況に影響を及ぼす可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）の連結業績は、営業収入（売上高）22億6百万円（前年同期比3.4%増）、営業損失14億73百万円（前年同期は営業損失6億5百万円）、経常損失16億73百万円（前年同期は経常損失6億87百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失15億16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億89百万円）となりました。

当第3四半期におきましては、金融事業の多角化の構築に伴う人材採用など、先行投資により販管費が7億27百万円増加となりました。また、投資先企業1社の株価下落により5億82百万円の売却損を計上しました。

当期間の連結対象となるOakキャピタルインベストメント株式会社並びにスターリング証券株式会社の決算期は3月決算会社ですが、株式会社ノースエナジーは12月が決算期となりますので、当社の当第3四半期においては、同社の2019年1月から2019年9月末までが連結されております。

また、当社の2020年3月期における連結では、同社の2019年1月から2019年12月末までの業績が計上されます。

当期より投資銀行事業、証券事業、アセットマネジメント事業の3事業分野でスタートし、様々な金融サービスの提供を通じて企業および投資家の期待に応えられる独立系総合ファイナンシャルグループの構築を目指しております。2020年より各種金融サービスの提供を本格的に開始し、各事業の収益向上に努め企業価値および株主価値の向上に向けて邁進してまいります。

- ・Oakキャピタルグループの各事業会社（連結子会社）の業務内容
 - 〔投資銀行事業〕Oakキャピタルインベストメント株式会社
 - ・投資分野：上場企業向けエクイティファイナンス引受、IPO投資
 - ・資金調達分野：成長資金、M&A資金、事業再生資金
 - ・アドバイザー分野：経営戦略および事業戦略立案、M&A
 - 〔証券事業〕スターリング証券株式会社
 - ・証券分野：個人投資家向けFX、商品CFD、証券CFD
 - ・コンサルティング分野：経営戦略サポート、上場企業IR支援
 - 〔アセットマネジメント事業〕株式会社ノースエナジー
 - ・資金運用分野：投資家向け太陽光など再生可能エネルギー発電システムの運用販売

(重要経営指標)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-------------------------------|--|--|--|
| 売上高(千円) | 2,134,513 | 2,206,383 | 2,230,477 |
| 営業損益(は損失)(千円) | 605,745 | 1,473,213 | 906,841 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益(は損失)(千円) | 689,642 | 1,516,838 | 979,138 |
| 総資産(千円) | 8,384,785 | 9,136,473 | 8,498,679 |
| 純資産(千円) | 8,141,666 | 6,027,251 | 7,439,335 |
| 投資収益率(%) | 5.09 | - | 5.04 |
| 自己資本比率(%) | 97.10 | 65.25 | 87.54 |
| 1株当たり四半期(当期)純損益(は損失)(円) | 12.86 | 28.28 | 18.25 |
| 1株当たり配当額(円) | - | - | 5.00 |
| 従業員1人当たり営業損益(は損失)(千円) | 23,297 | 20,749 | 31,270 |
| 従業員数(人) | 26 | 71 | 38 |

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前期末と比べ、6億37百万円増加し91億36百万円となりました。負債につきましては、前期末と比べ、20億49百万円増加し31億9百万円となりました。それぞれ増加した主な要因は、第1四半期連結会計期間より株式会社ノースエナジーを連結の範囲に加えたことによるものであります。純資産につきましては、前期末と比べ、14億12百万円減少し60億27百万円となりました。減少した主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ノースエナジーを連結の範囲に含めたことにより、金融事業の従業員数は大幅に増加いたしました。その結果、当社グループの従業員数は33名増加し71名となりました。

なお、従業員数には臨時従業員数は含まれておりません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 150,000,000 |
| 計 | 150,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年2月7日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|---|----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 53,675,037 | 53,675,037 | 東京証券取引所 市場第二部 | 単元株式数100株 |
| 計 | 53,675,037 | 53,675,037 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金 残高(千円) |
|----------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2019年10月1日 ~2019年12月31日 | - | 53,675,037 | - | 4,282,010 | - | 2,957,049 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 39,300 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 53,437,800 | 534,378 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 197,937 | - | - |
| 発行済株式総数 | 53,675,037 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 534,378 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が4,200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数42個が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|--------------|------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| Oakキャピタル株式会社 | 東京都港区赤坂八丁目10番24号 | 39,300 | - | 39,300 | 0.07 |
| 計 | - | 39,300 | - | 39,300 | 0.07 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,357,911 | 2,124,546 |
| 売掛金 | 122,969 | 208,472 |
| 営業投資有価証券 | 2,119,740 | 1,470,119 |
| たな卸資産 | 2,151 | 691,529 |
| 預託金 | 796,952 | 148,357 |
| 短期貸付金 | 8,000 | 8,000 |
| 1年内回収予定の長期貸付金 | 443,307 | - |
| 1年内回収予定の関係会社長期貸付金 | 333,060 | - |
| その他 | 209,896 | 326,227 |
| 貸倒引当金 | - | 105,588 |
| 流動資産合計 | 6,393,989 | 4,871,664 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 143,777 | 1,103,970 |
| その他(純額) | 141,556 | 410,094 |
| 有形固定資産合計 | 285,333 | 1,514,065 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 240,003 | 510,372 |
| その他 | 2,284 | 1,578 |
| 無形固定資産合計 | 242,287 | 511,950 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 774,895 | 691,760 |
| 関係会社長期貸付金 | 389,348 | 879,475 |
| 投資不動産 | 313,545 | 313,545 |
| その他 | 99,278 | 389,259 |
| 貸倒引当金 | - | 47,613 |
| 投資その他の資産合計 | 1,577,068 | 2,226,428 |
| 固定資産合計 | 2,104,689 | 4,252,444 |
| 繰延資産 | - | 12,365 |
| 資産合計 | 8,498,679 | 9,136,473 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 7,119 | 258,872 |
| 短期借入金 | - | 800,000 |
| 1年内償還予定の社債 | - | 84,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | - | 123,488 |
| 受入保証金 | 774,664 | 133,024 |
| 未払金 | 54,670 | 131,050 |
| 未払法人税等 | 30,539 | 18,918 |
| 引当金 | 1,000 | - |
| その他 | 50,105 | 356,807 |
| 流動負債合計 | 918,098 | 1,906,161 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | - | 356,000 |
| 長期借入金 | - | 396,970 |
| 引当金 | - | 69,750 |
| 退職給付に係る負債 | 112,416 | 103,881 |
| その他 | 28,828 | 276,458 |
| 固定負債合計 | 141,244 | 1,203,060 |
| 負債合計 | 1,059,343 | 3,109,222 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,282,010 | 4,282,010 |
| 資本剰余金 | 3,206,446 | 3,206,446 |
| 利益剰余金 | 328,784 | 1,456,238 |
| 自己株式 | 13,485 | 13,659 |
| 株主資本合計 | 7,803,755 | 6,018,558 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 367,764 | 73,801 |
| 為替換算調整勘定 | 3,344 | 16,365 |
| その他の包括利益累計額合計 | 364,420 | 57,435 |
| 非支配株主持分 | - | 66,128 |
| 純資産合計 | 7,439,335 | 6,027,251 |
| 負債純資産合計 | 8,498,679 | 9,136,473 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 2,134,513 | 2,206,383 |
| 売上原価 | 2,029,972 | 2,242,012 |
| 売上総利益又は売上総損失() | 104,540 | 35,628 |
| 販売費及び一般管理費 | 710,286 | 1,437,584 |
| 営業損失() | 605,745 | 1,473,213 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 30,289 | 29,238 |
| 業務受託手数料 | 270 | 4,545 |
| 受取保険金 | - | 21,065 |
| 為替差益 | 88,062 | - |
| その他 | 4,644 | 11,385 |
| 営業外収益合計 | 123,266 | 66,235 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 26 | 10,961 |
| 持分法による投資損失 | 167,459 | 107,492 |
| 株式交付費償却 | 460 | - |
| 為替差損 | - | 27,625 |
| 貸倒引当金繰入額 | 37,000 | 104,288 |
| その他 | 336 | 16,284 |
| 営業外費用合計 | 205,282 | 266,651 |
| 経常損失() | 687,762 | 1,673,630 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 171,241 |
| 特別利益合計 | 0 | 171,241 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 7,769 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | - | 31,588 |
| 減損損失 | - | 622 |
| 特別損失合計 | 0 | 39,981 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 687,761 | 1,542,370 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,934 | 10,221 |
| 法人税等調整額 | 52 | 1,959 |
| 法人税等合計 | 1,881 | 8,262 |
| 四半期純損失() | 689,642 | 1,550,632 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失() | - | 33,794 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失() | 689,642 | 1,516,838 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純損失() | 689,642 | 1,550,632 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 53,324 | 294,066 |
| 為替換算調整勘定 | 6,106 | 31,977 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 473 | 18,955 |
| その他の包括利益合計 | 47,691 | 307,088 |
| 四半期包括利益 | 641,951 | 1,243,544 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 641,951 | 1,209,854 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | 33,690 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、従来、当社の主たる営業目的である投資育成を目的としていたため議決権の過半数を自己の計算において所有しているにもかかわらず子会社としていなかったノースホールディングス(株)及び(株)ノースエナジーについて、2019年4月2日の当社取締役会決議により、両社を当社グループの傘下に入れることを決定したため、連結の範囲に含めております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当第3四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが確実と認められ、連結貸借対照表の総資産額及び総負債額の増加並びに連結損益計算書の売上高等の増加が見込まれると考えられます。

(四半期連結貸借対照表関係)

連結子会社(株)ノースエナジー)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 当座貸越極度額及び貸出 コミットメントの総額 | - 千円 | 700,000千円 |
| 借入実行残高 | - | 700,000 |
| 差引額 | - | - |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 13,621千円 | 40,351千円 |
| のれんの償却額 | - | 24,813 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 536,385 | 10 | 2018年3月31日 | 2018年6月28日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 268,184 | 5 | 2019年3月31日 | 2019年6月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

金融事業以外のその他の事業について重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載は省略しております。

(有価証券関係)

その他有価証券が、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券

前連結会計年度(2019年3月31日)

| | 取得原価(千円) | 連結貸借対照表計上額(千円) | 差額(千円) |
|---------|-----------|----------------|---------|
| (1) 株式 | 2,442,890 | 2,075,125 | 367,764 |
| (2) 債券 | - | - | - |
| (3) その他 | - | - | - |
| 合計 | 2,442,890 | 2,075,125 | 367,764 |

(注)非上場株式等(連結貸借対照表計上額43,308千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当第3四半期連結会計期間末(2019年12月31日)

| | 取得原価(千円) | 四半期連結貸借対照表計上額(千円) | 差額(千円) |
|---------|-----------|-------------------|--------|
| (1) 株式 | 1,488,127 | 1,414,188 | 73,939 |
| (2) 債券 | - | - | - |
| (3) その他 | 15,500 | 13,894 | 1,605 |
| 合計 | 1,503,627 | 1,428,082 | 75,545 |

(注)非上場株式等(四半期連結貸借対照表計上額45,826千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|--------------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 12円86銭 | 28円28銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円) | 689,642 | 1,516,838 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失金額()(千円) | 689,642 | 1,516,838 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 53,637 | 53,636 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月6日

Oakキャピタル株式会社

取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小倉 明 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 柳 吉昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているOakキャピタル株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、Oakキャピタル株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。